

# 不可能を可能にする 金属加工のエキスパート



## 株式会社三協製作所

### 金属加工技術を追求し メタルラス製品の量産化に貢献

昭和30年の創業以来、「金属を加工すること」に特化し、技術の研鑽を続ける三協製作所。プレス加工や板金加工はもちろんのこと、ここ数年は、さらに高度な技術が必要とされる極薄製品の端面処理や溶接加工等も手がけるようになった。特に、エキスパンドメタルラス（薄い金属板に切り込みを入れ、直交方向に引っ張って網目状にしたもの）の切断・溶接に関しては、独自のノウハウを確立。技術的に不可能だと言われていた多くの部品の量産化に成功してきた。

その代表例として、ステンレス製メタルラスのエアコンフィルタへの応用が挙げられる。扇風機等、家電製品の部品生産を行っていたつながりで、大手家電メーカーから新型フィルタの加工依頼が来たのが約5年前のことだ。

「従来の樹脂製フィルタに代えて、アース機能を併せ持つメタルラスフィルタを作りたいという話でした。ところが当時、発注元にも当社にもラス加工の知識は皆無。本当にゼロからのスタートでした」と石本一彦社長は振り返る。

板厚0・15mmのラスを単純に打ち抜いただけでは、骨組みとの溶接が困難になり、量産できない。初日に完成した製品は、わずか3個のみ。そこで、網目を綺麗に切断できる特殊金型の製作や、繊細なラスに損傷を与えない溶接技術の開発等、試行錯誤を繰り返して、最終的には量産を実現させた。

### 難題こそチャンス オンリーワン技術を追求する プロ集団でありたい

昨年発売された大手自動車メーカーの新车にも、同社がラスプレス加工を行ったフロントグリルが採用される等、メタルラス加工においては、全国的に知られる存在となりつつある。

「フロントグリルを作る際も、本来であれば絞り加工の際に潰れてしまうラス目（交差部）の突起を、デザイン的に残したいとメーカーから注文がありました。このときも、金型内でラスを宙吊りにしてパンチを行う方法を考案し、取引先からの要望に応えられたのです」。

与えられた「難題」に、その都度応えようとしてきた努力こそが財産、と話す石本社長。平成17年の社長就任直後から、積極的な改革を行ってきた。

「企業として差別化を図るためには、難しくて他社がやらないことに挑戦しなければなりません。従来のプレス・板金加工に加え、ラスに代表される極薄特殊加工やアルミ材の高精度加工等、金属加工のノウハウを活かした新事業が収益の柱となり

つつあります」。

また、人材育成も重視する石本社長。能力別に個別教育プログラムを作成し、資格取得支援やセミナー参加の促進等、従業員への動機付けも欠かさない。

経営理念は「ものづくりをとおして夢を語り、夢を実現させるため愛の心で道を切り拓く」。同社が「金属加工のエキスパート企業」となるまでに歩んできた、様々な困難とたゆまぬ挑戦の歴史は、さらなる夢へと続いている。

### 主な事業内容

鉄鋼・鉄製品の製造販売加工、精密金型製作、製品組立加工全般



石本一彦さん  
代表取締役社長

### 株式会社三協製作所

住所 / 〒578-0901  
大阪府東大阪市加納5-10-43  
創業 / 昭和30年3月  
設立 / 昭和35年2月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 35名（平成21年1月現在）  
TEL / 072-872-0191  
FAX / 072-871-3876

ISO 9001  
ISO 14001

<http://www.sankyo-seisakusyo.co.jp/>

大阪  
20